

特別の教科 道徳

特別の教科 道徳の目標について	
<p>【教科の目標】</p> <p>第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	
<p>【内容項目】</p> <p>A 主として自分自身に関すること</p> <p>〔自主、自律、自由と責任〕</p> <p>〔節度、節制〕</p> <p>〔向上心、個性の伸長〕</p> <p>〔希望と勇気、克己と強い意志〕</p> <p>〔真理の探究、創造〕</p> <p>B 主として人との関わりに関すること</p> <p>〔思いやり、感謝〕</p> <p>〔礼儀〕</p> <p>〔友情、信頼〕</p> <p>〔相互理解、寛容〕</p> <p>C 主として集団や社会との関わりに関すること</p> <p>〔遵法精神、公德心〕</p> <p>〔公正、公平、社会正義〕</p> <p>〔社会参画、公共の精神〕</p> <p>〔勤労〕</p> <p>〔家族愛、家庭生活の充実〕</p> <p>〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕</p> <p>〔郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度〕</p> <p>〔我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度〕</p> <p>〔国際理解、国際貢献〕</p> <p>D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p> <p>〔生命の尊さ〕</p> <p>〔自然愛護〕</p> <p>〔感動、畏敬の念〕</p> <p>〔よりよく生きる喜び〕</p>	

【参考】

○ 目標の改善

道徳教育の目標と道徳科の目標を、各々の役割と関連性を明確にするため、道徳科の目標を「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」として、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同一であることが分かりやすい表現にするとともに、従前、道徳の時間の目標に定めていた「各教科等との密接な関連」や「計画的、発展的な指導による補充、深化、統合」は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に整理した上で、表現を改めた。

また、道徳的価値について自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省し、多面的・多角的に考え、判断する能力、道徳的心情、道徳的行為を行うための意欲や態度を育てるという趣旨を明確化するため、従前の「道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め」ることを、学習活動を具体化して「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習」と改めた。

さらに、これらを通じて、よりよく生きていくための資質・能力を培うという趣旨を明確化するため、従前の「道徳の実践力を育成する」ことを、具体的に「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」と改めた。

○ 標準授業時数

第1学年－35単位時間

第2学年－35単位時間

第3学年－35単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・701 道徳・801 道徳・901	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容、内容の構成・排列	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 今までに、命の大切さやありがたさを実感したのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～ 命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 自分たちと自然とのつながりを感じるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分が関わっていくことができる自然を守る活動には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～ 郷土のために自分ができることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>第2学年～ メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育てることができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役制演技による学習を示す「アクション」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 			

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳・702 道徳・802 道徳・902	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容	○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。 第 1 学年～ 人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動 第 2 学年～ 命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動 第 3 学年～ 命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動			
		○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。 第 1 学年～ 身近な自然を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第 2 学年～ 自然環境の保護のために、自分にはどのようなことができるかを考える活動 第 3 学年～ 人間が生活していくことと、自然を守ることに、どのような関わりがあるかを考える活動			
内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。 第 1 学年～ 地域に昔からある伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動 第 2 学年～ 伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活動 第 3 学年～ 日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものには、どのようなものがあるかを考える活動			
		○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。 第 1 学年～ インターネットを扱い、ルールやマナーは、自分たちの生活になぜ必要なのかを考える活動 第 2 学年～ SNS を扱い、よりよく利用していくことで、得られることは何かを考える活動 第 3 学年～ スマートフォンや携帯電話を扱い、よりよく利用していくためには、どのようなことが大切かを考える活動			
		○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話合いの視点を示す「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。			

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学びを深めるために」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		38・光村	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳・703 道徳・803 道徳・903	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき
<div> <div> <div>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容</div> <div>、</div> <div>内容の構成・排列</div> </div> <div> <p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 生きていることが当たり前ではないと感じるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 人と自然がよりよい関係を築くためには、どのような考えが必要かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 美しい自然環境を守っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 自然環境を守るために、環境破壊などの問題に、どのように取り組んでいくべきかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分が住む郷土の伝統や文化をつくり、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 郷土の伝統や文化を継承していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ スマートフォンを扱い、立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのような心構えが必要かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話合いの視点を示す「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年で、道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示す「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 </div> </div>					

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳・704、道徳・705 道徳・804、道徳・805 道徳・904、道徳・905	中・道徳・704、705、804、805、904、905 中・道徳・704、705、804、805、904、905 中・道徳・704、705、804、805、904、905
<div> <div> <div>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容</div> <div>、</div> <div>内容の構成・排列</div> </div> <div> <p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 人とつながって生きている自分とは、どのような存在であるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 自分の周りにある支え合う生命には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 命のつながりや命をつないでいくこととは、どのようなことかを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 雄大な自然に対して、今の自分には、どのようなことができるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 自然の美しさや偉大さに接したときに、どのような思いになるかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 日頃から考えている人の力を超えた自然の力は、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自分が住んでいる地域の伝統や文化には、どのような意味があるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 郷土の伝統や文化を絶やさないために必要なことは、どのようなことかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 伝統や文化を受け継ぐためには、どのようなことを大切にすればよいかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ スマートフォンを扱い、自ら尊重したいから守ると考えるルールには、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ SNS を扱い、相手にとって自分が本当の友達になるために、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、相手の気持ちを考えた行動とは、どのようなものかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習の流れを示した「学習の進め方」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 </div> </div>					

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、インターネットへリンクする「マーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		224・学研	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳・706 道徳・806 道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉 1 新・中学生の道徳 明日への扉 2 新・中学生の道徳 明日への扉 3
<div> <div> <div>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容</div> <div>、</div> <div>内容の構成・排列</div> </div> <div> <p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 命の偶然性や連続性、有限性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 生命の誕生に関わる話を聞いたり写真を見たりしたとき、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 自分にとって、命を大切にすることとは、どのようなことを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 自然環境に関わる課題に取り組んでいくために、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 一度壊れてしまった自然環境を再生するためには、どのようなことが必要かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 環境問題を解決するために、自分たちは、どのように自然と関わればよいかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 日本人が日本の伝統や文化を継承することには、どのような意義があるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 自分が住んでいる地域を誇りに思うときは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 地域にある伝統や文化の継承に、自分はどのように関わっていくことができるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ スマートフォンを扱い、自分で自分の生活をコントロールするためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ SNS を扱い、異なる意見を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ インターネットを扱い、周りの人の権利を損なわないようにするためには、どのようなことに気を付けなければならないかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を示す「話し合おう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「見つけよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役制演技による学習を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 </div> </div>					

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考えを深める四つのステップ」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	232・廣あかつき		第1学年 第2学年 第3学年	道徳・707、道徳・708 道徳・807、道徳・808 道徳・907、道徳・908	中学生の道徳 自分を見つける1、中学生の道徳ノート 自分を見つける1 中学生の道徳 自分を考える2、中学生の道徳ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分を働かす3、中学生の道徳ノート 自分を働かす3
取扱内容	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ この世に生まれてきたことや、今、生きていることについて、どのように感じているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 命を大切にすることについて、立場や状況によって考えが異なる中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～ 人の生死に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 社会が変化する中で、人々は、自然に関するどのような問題を見落としてきたかを考える活動</p> <p>第2学年～ 自然がもつ美しさや偉大さについて、自分はどのように感じるかを考える活動</p> <p>第3学年～ 人間の営みと自然の営みが共存していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ 郷土の特色の維持や発展のために、自分はどのようなことをしているかを考える活動</p> <p>第2学年～ 長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化には、そこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動</p> <p>第3学年～ 郷土の発展のために、自分にできることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～ インターネットを扱い、利用する際に、自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないのはなぜかを考える活動</p> <p>第2学年～ SNSを扱い、情報機器に振り回されないようにするために、どのようなことを心がけるとよいかを考える活動</p> <p>第3学年～ スマートフォンを扱い、インターネットの利用に際して、どのような責任が伴うかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役制演技による学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 				

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、教材ごとに考えを広げたり、深めたりするための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「インターネット」マーク（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		233・日科	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年	道徳・709 道徳・809 道徳・909	道徳 中学1 生き方から学ぶ 道徳 中学2 生き方を見つめる 道徳 中学3 生き方を創造する
<div> <div> <div>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容</div> <div>、</div> <div>内容の構成・排列</div> </div> <div> <p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 人が生命を尊重したり、人の命を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 生命に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 人が自然環境の維持を願ったり、自然を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 自分にとって、地球の未来のためにできることは、どのようなことかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 自分がこれまで出会った自然の美しさには、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ 家族や地域の人々は、郷土に対して、どのような思いをもっているかを考える活動</p> <p>第 2 学年～ 地域の伝統行事は、郷土の人々にとって、どのような意味があるかを考える活動</p> <p>第 3 学年～ 身の回りにある長く受け継がれてきた日本人の技や知恵には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第 1 学年～ SNS を扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのような配慮が必要かを考える活動</p> <p>第 2 学年～ インターネットを扱い、コミュニケーションを図る上で、どのような配慮が必要かを考える活動</p> <p>第 3 学年～ スマートフォンを扱い、インターネットを介してコミュニケーションをとるときに大切なことは、どのようなことかを考える活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話合いの視点を示す「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育てることができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 </div> </div>					

使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、学年末に記入する「〇年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科って何を学ぶの？」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりしながら学習することができるよう教科書の使い方を示すページを配置するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和３年度使用 文部科学省）による</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

＜特別の教科 道徳の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① 各学年の内容項目の分量
- ② 北海道の地域素材を掲載している教材数
- ③ いじめの問題に関する教材のページ数

◎調査対象項目にした理由

- ① 道徳科の指導に当たっては、内容項目間の関連を十分に考慮したり、指導の順序を工夫したりして、生徒の実態に応じた適切な指導を行うことが大切であり、全ての内容項目が調和的に関わり合いながら、生徒の道徳性が養われるように工夫することが求められていることから、内容項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 生徒にとって身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができる地域教材の開発や活用が求められていることから、北海道に関わる地域素材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 現実の困難な問題に主体的に対処することのできる実効性ある力を育成することが求められていることから、いじめの問題への対応に関する教材の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者		東書			教出			光村			日文		
				学年		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	各学年の内容項目の分量	A 主として自分自身に関すること	ページ数	36	30	35	43	33	23	30	43	41	37	32	31		
			全体に占める割合	19%	15%	18%	21%	17%	12%	16%	22%	21%	16%	14%	13%		
		B 主として人との関わりに関すること	ページ数	30	37	33	41	33	30	42	34	30	41	39	34		
			全体に占める割合	16%	19%	17%	20%	17%	16%	23%	18%	16%	18%	17%	15%		
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	ページ数	67	72	78	71	92	89	59	62	65	78	81	96		
			全体に占める割合	35%	36%	39%	34%	48%	46%	32%	32%	34%	34%	35%	42%		
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	ページ数	40	45	38	40	21	37	33	33	30	41	43	39		
			全体に占める割合	21%	23%	19%	19%	11%	19%	18%	17%	16%	18%	19%	17%		
		E 複数の内容項目が含まれている教材等	ページ数	16	13	13	13	13	13	20	20	26	34	36	31		
			全体に占める割合	9%	7%	7%	6%	7%	7%	11%	11%	13%	14%	15%	13%		
		総ページ数			189	197	197	208	192	192	184	192	192	231	231	231	
		前回の総ページ数			181	189	189	194	178	178	224	224	232	231	231	231	
		増減			4%	4%	4%	7%	8%	8%	-18%	-14%	-17%	0%	0%	0%	
②	北海道の地域素材を掲載している教材数			2	1	5	2	4	5	3	2	3	1	2	0		
③	いじめの問題に関する教材のページ数			65	49	35	63	61	38	48	61	48	42	30	36		

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

※ 日文及び廣あかつきは、本冊と別冊の二分冊で構成されている。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者		学研			廣あかつき			日科		
				学年		1	2	3	1	2	3	1	2	3
①	各学年の内容項目の分量	A 主として自分自身に関すること	ページ数	36	44	38	43	32	34	28	28	33		
			全体に占める割合	20%	23%	19%	19%	15%	17%	15%	14%	17%		
		B 主として人との関わりに関すること	ページ数	34	32	38	39	28	23	33	36	32		
			全体に占める割合	19%	16%	19%	17%	14%	12%	17%	19%	17%		
		C 主として集団や社会との関わりに関すること	ページ数	60	60	60	51	61	58	78	67	66		
			全体に占める割合	33%	31%	31%	23%	29%	28%	40%	35%	34%		
		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	ページ数	32	38	36	39	29	31	25	32	38		
			全体に占める割合	17%	19%	19%	17%	14%	15%	13%	17%	20%		
		E 複数の内容項目が含まれている教材等	ページ数	21	21	23	52	58	58	28	29	23		
			全体に占める割合	11%	11%	12%	24%	28%	28%	15%	15%	12%		
		総ページ数			183	195	195	224	208	204	192	192	192	
		前回の総ページ数			180	184	184	238	222	218	192	192	192	
		増減			2%	6%	6%	-6%	-6%	-6%	0%	0%	0%	
②	北海道の地域素材を掲載している教材数			2	3	2	2	3	2	0	3	0		
③	いじめの問題に関する教材のページ数			60	64	58	13	14	26	19	12	12		

※ 「総ページ数」は、教科書に記載されている最終ページ数とする。

※ 日文及び廣あかつきは、本冊と別冊の二分冊で構成されている。

様式 5

様式 4 の調査項目②「北海道の地域素材を掲載している教材数」の具体的な内容

学	教材名	取扱い方	内容	位置
東 書	1 「どうせ無理」という言葉に負けない	本文	植松努	P116
	郷土のことを考える	本文・写真	アイヌ古式舞踊	P182
	2 我、ここに生きる	本文	北海道霧多布	P136
	3 背番号15が歩んだ道－黒田博樹	本文	北海道日本ハムファイターズ	P39
	受けつがれる思い	本文	北海道	P118
	高く遠い夢	本文	北海道藻岩山	P122
	足袋の季節	本文	北海道小樽市	P140
	将来の姿をイメージしよう	本文・写真	北海道	P189
教 出	1 「どうせ無理」をなくしたい	本文・写真	植松努	P34
	都道府県にゆかりのある人物と、その言葉	本文	千代の富士貢	P200
	2 釧路湿原を守れ	本文・写真	北海道釧路湿原	P114
	地下鉄で	本文	北海道札幌市	P165
	モノづくりのまち、東大阪の会社見学	本文	北海道	P168
	都道府県にゆかりのある人物と、その言葉	本文	三浦綾子	P184
	3 足袋の季節	本文	北海道小樽市	P136
	もう一つの時間	本文・写真	ヒグマ	P156
	世界に誇る「BONSAI」	本文	北海道国後島	P176
	カムイモシリとアイヌモシリ	本文・挿絵	アイヌの人たち	P180
光 村	1 「ソーセージ」の悲しい最後	本文・写真・図表	北海道知床	P106
	日本のお米	本文	北海道	P112
	撮れなかった一枚の写真	本文	吉田ルイ子	P123
	2 アイヌの歌を歌いたい	本文・写真	アイヌ文化	P170
	日本各地の世界遺産	本文・写真	北海道知床	P185
	3 あの日 生まれた命	本文・写真	旭川大学大学院	P26
	足袋の季節	本文	北海道小樽市	P100
	「持続可能な開発目標（SDGs）」について知ろう	本文・図表	北海道下川町	P117
	1 人のフリみて	本文	北海道洞爺湖温泉	P18
	2 よみがえれ、えりもの森	本文・写真・図表	北海道えりも町	P132
日 文	足袋の季節	本文・写真	北海道小樽市	P168
	1 諦めなければ夢は叶う	本文・写真	式町水晶	P146
	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	本文・写真	本橋麻里	P158
	2 鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅	本文・写真	高梨沙羅	P10
	星置きの滝	本文・写真	北海道星置きの滝	P90
	足袋の季節	本文・写真	北海道小樽市	P128
	3 正確な日本地図の追究 伊能忠敬	本文	蝦夷地	P30
	町工場から宇宙へ	本文・写真	植松努	P74
	1 地下鉄で	本文	北海道札幌市	P96
	人間愛の精神で支え合って 糸	本文	中島みゆき	別冊P11
廣 あ か つ き	2 野生の猛禽を守るために	本文	北海道釧路湿原野生生物保護センター	P25
	迷惑とは何ぞ	本文	三浦綾子	P128
	足袋の季節	本文・写真	北海道小樽市	P138
	3 原稿用紙	本文	北海道札幌市	P41
	襟裳のこと	本文・写真	北海道えりも町	P44
	2 もっと知りたい われ太平洋の橋とならん	本文・写真	新渡戸稲造	P47
日 科	コンスタンチン君 命のリレー	本文	北海道	P154
	足袋の季節	本文・写真	北海道小樽市	P181